

事業番号	05 08 01	事業改善シート（令和6年度実施事業分）		■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	感染症対策事業	部局	健康福祉部	課・室	感染症対策課		
		実施期間	S26 ～	E-mail	kansen @ pref.nagano.lg.jp		

1 現状と課題

- ・感染症は、人類創世期以来の脅威として常にあり続けている。
- ・国際交流の活発化等により海外からの病原体の侵入を防ぐことには限界がある。
- ・感染症対策には、予防・治療・療養の体制確立が肝要であり、一律に隔離するといった対策の必要性は減少している。
- ・社会機能の維持のため、人権にも配慮しながら必要最小限度で感染症対策を実施する必要がある。
- ・加えて、新型コロナウイルス感染症の経験を活かし、新たな感染症が定期的に発生することを想定した対応を平時から備えていく必要がある。

2 事業目的

感染症の発生及びまん延を防止することにより、県民の公衆衛生の向上及び増進を図る。

3 事業目的を達成するための取組

- ①感染症の流行状況の調査及び公表
- ・感染症の発生動向を把握するため、感染症法に基づき医療機関等から患者発生に係る情報を収集。
 - ・感染症の流行に係る情報を県民に伝え、予防に努めていただくため、積極的疫学調査等によって得られた情報を分析し、公表。
- ②感染症に関する各種検査・相談事業や啓発事業の実施
- ・社会的影響が大きい結核、エイズ等の感染症について、県民の不安解消及び同感染症のまん延防止のため、保健所において検査及び相談を受け付ける。
 - ・エイズ等の感染症について、県民の注意を促すため、感染症の性質や感染経路等について啓発活動を行う。
- ③新興感染症のまん延等への対応
- ・新型コロナウイルス感染症対応については、必要な対応を継続する。
 - ・新興感染症の発生及びまん延に備え、令和5年度に策定した感染症予防計画に基づき、平時からの備えを、令和6年度から段階的に進める。
 - ・新興感染症の発生等を把握した際、感染拡大を防止するため、積極的疫学調査の実施、入院勧告等の隔離措置といった対応を感染症法に基づき迅速に行う。
 - ・社会的な感染が長期化した場合は、予防・治療方法の確立に合わせ、社会経済活動の維持と感染拡大防止の両立を見据えた対策を実施していく。

4 成果指標

(推移の凡例 ↑:改善 ↓:悪化 →:変化なし —:数値なし)

No.	指標名	単位	R3年度	R4年度	R5年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込値			
①	集団発生事例数（新型コロナ、季節性インフル、新興感染症によるものを除く）	件	21	18	↑	26	↓	30 以下	R3年度及びR4年度は、新型コロナウイルス感染症対策で集団発生事例が減少していたが、5類移行後の感染対策緩和に伴い、新型コロナ前の状況に戻ることが想定されるため、H29年度、H30年度の平均30件とした。
②	新たなHIV感染者（エイズ患者数を含む） （過去5年平均）	人/年	11.0 (H29～ R3)	7.8 (H30～ R4)	↑	6.0 (R1～ R5)	↑	7.8 未満	新型コロナの影響で検査件数が減少している中、HIV感染者数も減少しており、また、長期的に推移をみていく必要があることから、新型コロナ以前を含めた過去5年平均を目標値として設定した。
③	新興感染症に係る第一種協定指定医療機関における即応病床数	床	-	-	-	-	-	560	新興感染症に備えるため、新型コロナウイルス感染症における最大流行規模での実績を基に、R6.4から締結する協定に係る病床数を目標として設定した。（感染症法で規定する予防計画の目標数値）

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （★印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標		
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値	
1-5②	充実した医療・介護提供体制の構築											

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R6年度	予算案	2月上旬公表予定		0			24.0
	要求	2,402,033		2,402,033	651,809		
R5年度	0	14,766,819	10,609,703	25,376,522	646,161		51.0
R4年度	0	38,454,162	4,708,475	43,162,637	1,678,193	39,733,501	51.0

事業番号	05 08 01	細事業一覧（令和6年度実施事業分）	■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	感染症対策事業		部局	健康福祉部	課・室	感染症対策課

細事業 No.	細事業名		R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算
1	感染症対策事業		38,239,387 千円	14,566,432 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 2,212,943 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	PCR検査体制強化事業	直接 委託	新型コロナウイルス感染症について、医療機関における検査の患者自己負担分助成及び行政検査の民間検査機関への委託を行う。 当面の間実施が見込まれる行政検査等件数：3,461件		
2	新型コロナウイルス感染症患者受入病床確保支援事業	補助金	新型コロナウイルス感染症の患者受入病床を確保する医療機関に対し、病床確保料を助成する。 確保する最大即応病床数：142床		
3	新型コロナウイルス感染症相談窓口事業	直接 委託 補助金	発熱等の症状のある方への受診相談及び療養中の方の健康相談に対応する体制を構築する。 受診・健康相談センター回線数：日中5回線、夜間3回線		
4	専門家懇談会設置事業	直接	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、専門的な助言や意見を聴くため、専門家懇談会を設置する。 年12回開催		
5	感染症対策連携協議会事業	直接	感染症の発生の予防及びまん延防止対策等に関する事項等について、有識者等の意見を聴く「感染症対策連携協議会」を開催する。 年1回開催		
6	感染症健康診断事業	直接	健康診断用医薬材料の購入、感染症検査に係る施設・設備の整備等を行う。 検査実施検体数見込み：635件		
7	感染症入院医療費負担事業	直接 委託	感染症患者を指定医療機関へ移送する体制を整備するとともに、入院医療費を公費で負担する。 当面の間、新型コロナウイルス感染症の入院又は療養に係る医療費見込み：178,828千円		
8	感染症指定医療機関補助事業	補助金	第一種（1病院）、第二種（11病院）感染症指定医療機関の運営費及び協定を締結した医療機関等への設備整備費に対して補助を行う。 第一種、第二種感染症指定医療機関運営費補助金執行見込み：33,858千円		
9	予防接種対策事業	委託 補助金 負担金	・予防接種により健康被害を受けた者に対し、医療費、障害年金等を負担する。 ・骨髄移植等により免疫消失した児に対するワクチン再接種費用を助成する市町村に対し、その費用の一部を負担する。 ・予防接種センター事業を実施する。 ワクチン再接種費用補助件数見込み：10件		
10	新型インフルエンザ等対策推進事業	直接	新型インフルエンザ等の発生時に、新型インフルエンザ等対策委員会を開催する。 -		
11	風しん抗体検査事業	委託	安心して妊娠、出産できる環境づくりに資するため、第一子の妊娠を希望する女性を対象に、風しんの抗体検査を実施する。 検査実施検体数見込み：350件		
12	予防接種促進事業	直接	・HPVワクチン接種の積極的勧奨再開に伴い、接種の機会を逃した県民への啓発を行う。 web広告想定閲覧回数：約6万5千回		

13	流行初期医療確保措置に係るシステム運用保守事業	委託	流行初期医療確保措置の事務を執行する支払基金及び国保連合会が構築するシステムの運用及び保守を行う。 —
14	IHEAT研修事業	直接	新興感染症発生時に増大する保健所業務を支援するIHEAT要員に対して研修を実施する。 保健所における実践型訓練：年1回実施
15	新興感染症対応のための県による個人防護具備蓄事業	直接	県主導で個人防護具を備蓄し、新興感染症発生時の個人防護具の需要増に対応する体制を構築する。 備蓄量：1,844,610枚（5品目合計）
16	新興感染症検査体制集中整備事業	直接	老朽化した検査機器を計画的に更新し、新興感染症発生時の検査体制を整備する。 整備対象機器見込台数：18台
17	新型コロナウイルス感染症対応医療チーム派遣事業	直接	新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生した施設において、感染管理対策等を行う看護職員を派遣する。 派遣見込回数：14回

細事業No.	細事業名	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算
2	感染症調査予防事業	18,302 千円	18,640 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 18,532 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	感染症発生動向調査事業	直接	感染症の発生状況を収集・分析するため、届け出医療機関への協力謝金や、環境保全研究所で行う検査の医薬材料を購入する。 検査実施検体数見込み：1,013件	
2	感染症流行予測調査事業	直接	インフルエンザや麻しん・風しん等の感染症の流行予測を行うため、保健所が検査に係る医薬材料を購入する。 検査実施検体数見込み：822件	
3	感染症健康診断等予防対策事業	直接	インフルエンザ様疾患の集団発生の状況把握のため、環境保全研究所が行う検査に係る医薬材料を購入する。 検査実施検体数見込み：1,000件	
4	予防接種後健康状況調査事業	直接	予防接種後の被接種者の健康状況についての情報を収集する。 調査協力予定医療機関数：12医療機関	

細事業 No.	細事業名	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算
3	結核対策事業	57,793 千円	51,835 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 48,503 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	結核健診事業	直接 委託	結核の疑いのある者の健診、結核治癒後の者の検診を実施するため、医薬材料の購入及びエックス線撮影を実施する。 検査実施検体数見込み：1,100件	
2	結核医療費負担事業	直接	通院患者及び入院勧告患者に対して医療費の公費負担をする。 医療費見込み：20,489千円	
3	結核健康診断補助事業	補助金	私立学校及び私立施設が行う定期健康診断に要する費用について補助する。 健康診断実施事業者数見込み：155事業者	
4	結核定期病状調査事業	直接	結核の二次感染等を防ぐため、結核登録者のうち病状把握が困難な者について、医療機関等から登録履者の病状を把握する。 定期病状調査報告書作成見込み件数：300件	

細事業 No.	細事業名	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算
4	結核特別対策事業	396 千円	396 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 379 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	結核予防総合事業	直接	結核患者の服薬確認（DOTS）を徹底するため、服薬手帳を作成し、患者に配布する。 作成予定部数：250部	
2	結核予防技術者研修事業	直接	結核業務に従事する保健所職員を研修に派遣する。 派遣予定人数：4人	

細事業 No.	細事業名	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算
5	特定感染症（エイズ・性感染症）対策事業	5,309 千円	4,424 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 4,540 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	エイズ・性感染症相談・検査、普及啓発事業	直接 委託	・保健所が行うHIV等の性感染症の無料検査に係る医薬材料費を購入するとともに、エイズ予防に関する啓発パンフレットを作成する。医療従事者感染症対策研修会を開催する。 ・性器クラミジア感染症等検査及び医療機関等における針刺し事故発生時に使用する抗HIV薬配備を行う。 HIV、性器クラミジア、梅毒検査見込み件数：2,250件	

細事業 No.	細事業名	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算
6	ウイルス肝炎対策事業	132,759 千円	124,876 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 116,920 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	ウイルス肝炎対策事業	直接 委託	<ul style="list-style-type: none"> ・ウイルス肝炎診療協議会を開催するとともに、ウイルス肝炎患者の経済的負担軽減を図るため、慢性肝炎、肝硬変及び肝がんの患者に対する医療費の一部を負担する。 ・肝疾患相談支援センター事業、ウイルス肝炎検査事業等を実施する。 	
			医療費見込み：94,762千円	

細事業 No.	細事業名	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算
7	ハンセン病対策事業	216 千円	216 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 216 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	ハンセン病対策事業	直接	<p>ハンセン病に関する正しい知識の普及や療養所施設の入所者への支援を図るため、社会交流（里帰り）事業や診療所訪問（2か所）を行う。</p>	
			療養所訪問：年1回、2か所	